蒙を啓く

学校だより11 月号　2022.11.30

福 井 市 啓 蒙 小 学 校

福井市開発1-1008　TEL：54-2819　FAX：54-9769　E-mail：keimo-e@fukui-city.ed.jp

学校だよりは、啓蒙小学校ホームページでもご覧いただけます。http://www.fukui-city.ed.jp/keimou-e/

木々の紅葉が終わりの時期を迎え、落葉が進んでいます。自然界では冬の準備が始まっているようです。学校でも教室に暖房器具が出され、冬の生活の準備が整いました。

令和４年もあとひと月。新型コロナウイルス感染者数はなかなか減少せず、大きな波がおとずれています。また、インフルエンザの流行も心配されています。これまで通り、しっかりと感染症の予防を努めながら、安全に、健康に日々の生活を送っていきたいと思います。

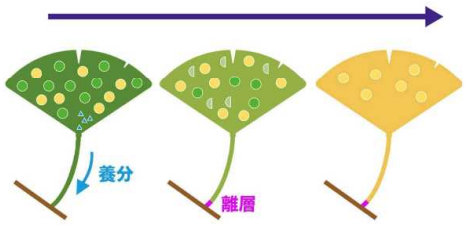
1　不思議に思ったことを調べてみよう　はてなの秋：11月8日（火）

食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋…、いろいろな秋がありますが、今日の話は「はてなの秋」。不思議に思ったことを調べてみようという話です。

さて、みなさんは「なぜ葉っぱの色が黄色や赤色に変わるのだろう？」って不思議に思ったことはないですか。そこで、校長先生はそのはてなについて調べてみました。

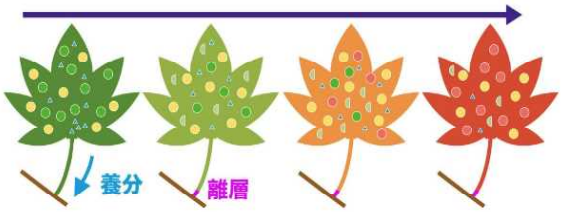
そもそも、なぜ葉っぱは緑色をしているのでしょうか。それは、葉っぱにはもともと緑色と黄色のつぶがあるそうです。緑色のつぶが多いので、葉っぱは緑色に見えるそうです。その緑色のつぶは、太陽の光が当たると、栄養を作り出すという大切な役割をもっています。葉っぱは太陽の光を受け、せっせと栄養を作り出し、自分が使うだけでなく、木のために栄養を送り続けています。

緑色のつぶがなくなり、黄色のつぶだけに……　―黄葉―



しかし、秋になり太陽の光が弱まってくると、葉っぱの栄養を作り出す力も弱くなり、木に送るどころか、葉っぱ自身が生きるために、木から栄養をもらわなければいけなくなります。そうなると、木にとって葉っぱは、冬を越すための栄養を奪っていく邪魔物となります。そこで、葉っぱを落とそうとするのですが、ただ落とすのではもったいない。葉っぱにある栄養（緑色のつぶ）を分解して、取り入れます。緑色のつぶがどんどん少なくなり、緑色が薄くなっていきます。最後に黄色のつぶだけになった葉っぱは、きれいな黄色に染まります。この場合、黄色の字を使って黄葉（こうよう）と表現することもあるそうです。

残っている緑色のつぶががんばり、赤のつぶを作り出す……　―紅葉―



葉っぱが緑色から赤く染まる仕組みも、冬に備えて緑色のつぶを分解して、木に取り入れるところまでは、黄色に染まる葉っぱと同じです。

葉っぱが赤く染まる理由は、葉っぱに分解されずに残っている緑色のつぶのがんばりです。残っている緑色のつぶは、弱い太陽の光に反応して、栄養を作り続けます。作られた栄養は、落とそうとしている木には運ばれずに、葉っぱにたまっていきます。行き場のなくなった栄養に日光が当たると、なんと！栄養が赤色のつぶに変身するのです。日光が当たれば当たるほど赤く変身するので、赤色が強くなっていきます。そして、真っ赤に染まります。

はてなの秋です。みなさんも不思議に思ったことについて、調べてみましょう！

2　引き渡し訓練　ご協力ありがとうございました：11月5日（土）

震度５強の地震が発生したとの想定で、引き渡し訓練を行いました。3年ぶりなので、確認をしながらの訓練となりました。実際に地震が起きると、想定外のことが発生し、訓練通りにはいかないと思いますが、訓練したことを生かしながら、大切な子供たちの命を守りたいと思います。

3　就学時健康診断　男子47名・女子29名　計76名：11月10日（木）

令和5年度、入学予定の子供たちが学校に来てくれました。グループをつくって、教室を回りながら健康診断を行いました。しっかりとお話を聞く姿勢に感心させられました。保護者の皆様には、福井市社会教育指導員の河合先生の子育て講演会を聞いていただきました。子供たちの自己肯定感を高める言葉や声のかけ方など、貴重なお話を聞くことができました。また、本校職員より、啓蒙小学校の１年生の生活について、説明させていただきました。来年の２月7日（火）には、わくわく交流デーとして、１年生との交流が予定されています。楽しみです！！

4　修学旅行　京都と福井で大満足：11月15日（火）・16日（水）

今年の修学旅行は、３年ぶりに京都に出かけることができました。

１日目、二条城や金閣寺、清水寺と日本の歴史を肌で感じることができました。その後、福井に戻り、若狭町のホテルに宿泊しました。

２日目、水月湖でレイククルーズを体験した後、縄文博物館と年稿博物館を見学。池田町の自然の中で、アスレチックを楽しみました。

子供たちの感想を紹介します。

一番思い出に残っているのは、清水寺のおみあげを買っているときです。「人にあげたらどんなことを思ってくれるかな？」「よろこんでくれるかな？」とか考えていたら、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

縄文博物館や年稿博物館で、仲間と協力しながらクイズなどできたのでよかったです。ツリーピクニックアドベンチャーいけだで行ったアスレチックは、最初は少し高くて怖かったけど、慣れるととても楽しかったです。

一番心に残っていることは、ホテルで友達と楽しく過ごしたことです。そして、京都で清水班のみんなとおみやげを買ったことです。友達との買い物は、すごくワクワクして楽しかったです。

京都のお寺の見学で、友達と仲良く協力できました。清水寺でのお土産タイムも、順調に時間通りに進めてよかったです。金閣寺のきらきらしている建物が心に残りました。

「『協力し合ったこと』『時間や約束を守ったこと』『肌で感じたこと』を、これからの学校生活に生かしていきたいです。」と、たくさんの子供たちが感想に記していました。